※令和４年度以降入学生用

学校番号	1013

令和８年度　地理歴史科

教科	地歴	科目	世界近現代史	単位数	２単位	年次	３年前期
使用教科書	新詳「世界史探究」　（帝国書院）						
副教材等	タペストリー　（帝国書院）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史という時間軸を感じる。
・歴史的事象に「なぜ」の視点を持つ。
・歴史を背景とした世界の国の諸事情を踏まえ、現在の日本の在り方を考える。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
世界の近現代の歴史について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
世界の近現代の歴史における事象の意味や意義、特色などを、地域や年代の関連、現代とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察したり、効果的に説明・議論できる力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
世界の近現代の歴史を学ぶなかで、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚と、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	世界の近現代の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象を、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	世界の近現代の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の近現代の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象を、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さの自覚などを深めている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学期末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動（後期）

単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準 a=知識・技能　b=思考・判断・表現　c 主体的に学習に取り組む態度	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
3部3章 主権国家体制の成立と交易の拡大	ヨーロッパの社会構造や思想の変化の過程には，どのような要因があったのだろうか。	a17～18世紀のヨーロッパの社会構造の変化を理解している。 b17～18世紀のヨーロッパの社会構造の変化に大きな影響を与えたものは何かについて考察し，自分の言葉で表現している。 c17～18 世紀のヨーロッパの社会構造の変化を主体的に追究しようとしている。	考査・課題、発問、授業態度	考査・課題、発問、授業態度	課題、発問、授業態度
4部1章 環大西洋革命～工業文明と国民国家の誕生	大西洋の沿岸で起こった複数の「革命」にはどのような関係があっただろうか。	a 大西洋を取り巻く地域で起こった革命が，各地の社会構造に与えた影響を理解している。 b 大西洋を取り巻く地域で起こった革命が，各地の社会構造に与えた影響について考察し，自分の言葉で表現している。 c 大西洋を取り巻く地域で起こった革命が，各地の社会構造に与えた影響を主体的に追究しようとしている。	考査・課題、発問、授業態度	考査・課題、発問、授業態度	課題、発問、授業態度
4部2章 イギリス覇権と欧米の国民国家建設	イギリスの覇権に対して，欧米はどのように対抗しただろうか。	a イギリスの覇権が欧米諸国に与えた影響を理解している。 b 国民国家形成の前後で，欧米諸国に生じた変化について考察し，自分の言葉で表現している。 c イギリスの覇権が欧米諸国に与えた影響を主体的に追究しようとしている。	考査・課題、発問、授業態度	考査・課題、発問、授業態度	課題、発問、授業態度
4部3章 世界一体化進展のアジア変容	欧米中心の国際分業体制のなかで，アジアはどのような改革を目指したのだろうか。	a「西洋の衝撃」がアジア諸地域に与えた影響を理解している。 b「西洋の衝撃」によるアジアの変化で，最も重大だと思うことについて，根拠を示しながら自分なりに評価し，表現している。 c「西洋の衝撃」がアジア諸地域に与えた影響を主体的に追究しようとしている。	考査・課題、発問、授業態度	考査・課題、発問、授業態度	課題、発問、授業態度
4部4章 世界一体化完成のとその影響	帝国主義に基づく欧米の拡大は，各地域にどのような変化をもたらしただろうか。	a 帝国主義が世界各地に与えた変化について，理解している。 b 帝国主義が世界各地に与えた変化について，欧米およびアジア・アフリカ・オセアニアの各地域ごとに考察し，表現している。 c 帝国主義が各地に与えた変化について，主体的に追究しようとしている。	考査・課題、発問、授業態度	考査・課題、発問、授業態度	課題、発問、授業態度

※令和４年度以降入学生用

4部5章 大時代の世界戦	なぜ世界は二度の大きな戦争を引き起こしてしまったのだろうか。	a 二度の世界大戦が起こった理由を理解している。 b 第一次世界大戦の反省を踏まえた平和への取り組みは成功せず，第二次世界大戦が起こった理由について考察し，表現している。 c 二度の世界大戦が起こった理由を主体的に追究しようとしている。	考査・課題、発問、授業態度	考査・課題、発問、授業態度	課題、発問、授業態度
4部6章 冷戦後の秩序と国際戦	第二次世界大戦後の世界秩序はどのように形成されていったのだろうか。	a 第二次世界大戦と冷戦構造の関係について理解している。 b 冷戦構造が形成されるなかで，アメリカ・ソ連・ヨーロッパ・第三勢力諸国の動きが冷戦構造に与えた影響について考察し，自分の言葉で表現している。 c 冷戦構造が世界にもたらした影響を主体的に追究しようとしている。	考査・課題、発問、授業態度	考査・課題、発問、授業態度	課題、発問、授業態度
5部1章 冷戦のとの展開和平模索	冷戦期から現在まで，どのような紛争があり，それに対してどのような平和への取り組みが行われたのだろうか。	a 冷戦期から現在まで世界各地で発生した紛争を理解している。 c 冷戦期から現在までの紛争の原因と解決方法について，共通点や相違点に着目しながら考察し，課題解決の方法を主体的に追究しようとしている。	考査・課題、発問、授業態度	考査・課題、発問、授業態度	課題、発問、授業態度
5部2章 グローバル化する国際経済の課題	現在に至る国際経済の動きと課題はどのように形成されていったのだろうか。	a 国際経済のグローバル化を理解している。 c グローバル化に向かう世界経済に生じている課題について考察し，課題解決の方法を主体的に追究しようとしている。	考査・課題、発問、授業態度	考査・課題、発問、授業態度	課題、発問、授業態度
5部3章 情報と科学技術によって結びつく世界	情報化と科学技術の進展は私たちの生活にどのような影響を与えたのだろうか。	a 科学技術の高度化と知識基盤社会の進展について理解している。 c 科学技術の高度化と知識基盤社会の進展は，私たちの生活にどのような影響や課題を与えているのか，歴史的経緯を踏まえて考察し，今後の科学と世界のあり方について主体的に追究しようとしている。	考査・課題、発問、授業態度	考査・課題、発問、授業態度	課題、発問、授業態度

※令和４年度以降入学生用

5部4章 地球世界の課題の探究	これまでの学習を踏まえて地球世界の課題を探究しよう。	b これまでの学習を踏まえて，主題を設定し，動機についても示しながら，よりよい社会実現のための仮説を表現している。 c 地球世界の課題について，歴史的な経緯を踏まえながら考察し，解決に向けて主体的に追究しようとしている。	考査・課題、発問、授業態度	考査・課題、発問、授業態度	課題、発問、授業態度

※　表中の観点を　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度